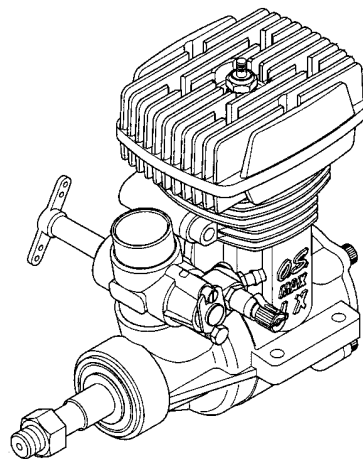


このたびはOSエンジンをご購入いただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。また必要なときに、参照できるように取扱説明書は大切に保管してください。使用する模型や無線操縦装置等の説明書も、あわせてお読みください。



## 目次

安全上のご注意 ————— 1

エンジン各部の名称・グロープラグの取付け・エンジンの取付け・  
グロープラグ・燃料・始動・ブレードクイン・キャブレタースロットル ——— 2

アイドルバルブの基準調整・調整・キャブレター調整の手順・使用後の手入れ ——— 3

アフターサービス・分解図と部品表・三面図・オプションパーツ&アクセサリ ——— 4

## 要目

- 行程体積/9.95cc ■ ボア/24.0mm ■ ストローク/22.0mm
- 実用回転数/2,000~18,000r.p.m. ■ 出力/2.0ps/16,000r.p.m.
- 重量/541g

## 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この安全上の注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。常に安全を心がけエンジンの馬力を軽視しないこと。エンジンを安全に使用するのあなたは自身の責任です。いつも注意深く分別ある行動をして楽しく使用してください。

■この注意事項は誤った取扱いをした時に、生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」に区分しています。

**警告** この表示の欄は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**注意** この表示の欄は、人が中程度または軽傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

### 警告

・ 回転しているローターには絶対に触れないでください。ケガをする恐れがあります。



・ 燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。



・ 燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。



・ 運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。やけどの恐れがあります。



・ 換気の悪い場所（密閉したガレージや室内等）で運転しないでください。有害な一酸化炭素等を排出しますので必ず戸外で運転してください。健康を害する恐れがあります。

### 注意

- ・ このエンジンは模型ヘリコプター用です。模型用以外に、使用しないでください。ケガや故障の原因となります。
- ・ 必ず消音効果の高いサイレンサーを使用してください。耳に損傷を受ける恐れがあります。
- ・ エンジンは模型に搭載してから始動してください。搭載前に始動するとケガの恐れがあります。
- ・ エンジンを使用するときは、子供や周囲の人々は安全のために、模型の周囲10メートル以上離してください。エンジン始動後は模型には、近付けないでください。ケガをする恐れがあります。
- ・ 模型にエンジンを取り付けるときは、模型の説明書の指示に従って、確実に取り付けてください。エンジンがはずれてケガをする恐れがあります。
- ・ プラグの通電時の点検時は手で持たないこと。また顔を近づけないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。
- ・ 洋服のヒラヒラしたような部分（シャツのそでとかネクタイ、スカーフ等）がローターの近くに来ないようにしてください。シャツのポケットから、鉛筆やねじまわし等がローターにおちてこないように注意すること。ケガをする恐れがあります。
- ・ エンジンを始動するときは、安全メガネや手袋を着用し、必ずスターターを使用してください。ケガをする恐れがあります。
- ・ 飛行前にスロットル・リンクagesをチェックしてください。はずれるとケガをする恐れがあります。
- ・ グローブプラグクリップやそのコードが、回転部分にからまないようにしてください。巻き込んでケガをする恐れがあります。
- ・ エンジンを始動するときは、ローターヘッドをしっかりおさえ、スターターで始動してください。ローターがまわってケガをする恐れがあります。
- ・ エンジンの始動時はいきなり高速運転しないでください。ローターがまわってケガをする恐れがあります。
- ・ キャブレターの調整はエンジン回転を最低速にし、ローターを停止させてから行なってください。ケガをする恐れがあります。
- ・ エンジンを始動させたままで、模型を持ち歩くときはローターをしっかりと固定し、回転部分に触れないようにしてください。ケガをする恐れがあります。
- ・ エンジンを停止する時はスロットルを全閉にし、燃料供給を止めてください。その際、回転部分には触れないでください。ケガをする恐れがあります。
- ・ プラグヒートをしなくてもスターターでエンジンを回転させると始動することがあります。ケガや故障の原因となります。

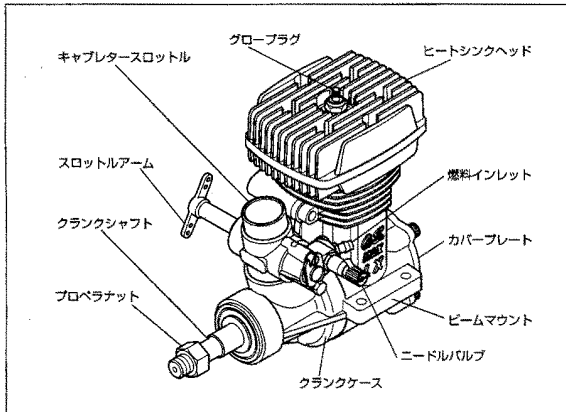
このエンジンは60クラスヘリコプターに入門される方や、スケールボディでのフライトやスポーツフライトを楽しみたい方のために開発された、60クラス模型ヘリコプター専用ハイパワーエンジンです。

ピギナーの方にはもちろん、コンテストフライヤーのセカンド機としての性能も十分に備えたモデルです。

## 注意

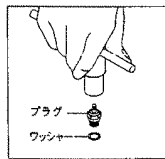
クランクケース内やシリンダー内に燃料が多量に入った場合（オーバーフロー）、スターターで無理に回すとエンジンが壊れる場合があります。  
プラグをはずして、スターターで燃料を排出し軽くまわりの確認の上、再度プラグを取付けて始動して下さい。

## エンジン各部の名称



## グロープラグの取付け

ワッシャをプラグに入れて取り付けて下さい。締め付けすぎに注意してください。又、新しいプラグに交換される時は尚時にワッシャも新品に交換してください。



## エンジンの取付け

エンジンを機体に搭載する場合、次のことに注意してください。エンジン本体の取付面（ビームマウントの下面）は、高精度に平面加工してあります。機体側のエンジンマウントが平面でないと、クランクケースやシリンダーライナー、ベアリングなどを変形させ、エンジンの性能を十分発揮できないばかりでなく、エンジン本体を駄目にしてしまうことがあります。機体側のエンジンマウントが平面になっていることを確認の上、3.5mmか4mmの六角穴付キャップスクリューで取り付けてください。エンジンの取付ねじには、ノルトロックワッシャ（別売）、ゆるみ止め剤などを使用し、確実な締め付けを行ってください。

## グロープラグ

グロープラグは使用される燃料や気象などにより、エンジンに作用する性質が変化します。実際にテストの上、最良のものを選んでください。このエンジンには、O.S.グロープラグNo.8を標準で付属しております。もし、グロープラグのフィラメントが断線したり、傷んだ場合は同じNo.8かA5を使用してください。

## グロープラグの役割

グローエンジン始動時は通電しフィラメントを赤熱させ点火させます。始動後は通電を止めても前サイクルの燃焼熱によりプラグのフィラメントが赤熱され回転が持続します。高回転時にはフィラメントが高温と早早いタイミングで点火し、低回転時には遅いタイミングで点火を行います。

## グロープラグを長持ちさせるコツ

グロープラグは消耗品と考えてください。使い方次第でプラグの寿命は大きく変わります。ここでプラグを長持ちさせるコツをいくつかご紹介しましょう。

- グロープラグを中速以上の回転域では、プラグヒートの電源を切ること。
- あまりニードルを絞すぎない。
- エンジンにマッチしたプラグを使用する。
- なるべく低二ト燃料を使用する。

## グロープラグの交換の目安

エンジンの性能を100%維持するには、いつもプラグをベストコンディションに保つ必要があります。こういう場合は早めにプラグを新品に交換してください。

- フィラメントの表面が荒れて白色化している場合。
- 異物が付着している場合。
- フィラメントが変形している場合。
- フィラメントの表面が汚れている場合。
- プラグの本体が錆びている場合。
- 混合気が濃いときにエンジンが止まりやすくなった時。
- 低速回転時に止まりやすくなった時。
- 始動性が悪い時。

## 燃料

一般にヘリコプター用として市販されている二トメタンが、5~30%入った燃料の中から、実際にテストの上最良のものを選んでください。潤滑油は良質のものであれば、合成油系でもむしろ油系でも問題ありませんが、容積比で少なくとも18%以上入っているものを使用してください。飛行中、燃料の残量がよくなるように使用される着色剤や、あらかじめ着色された燃料は、本来燃料の持っている特性を変えたり、着色剤がエンジン内に付着しエンジンの調子をくずす場合があります。十分吟味、テストの上ご使用ください。長時間使いたない燃料から他の燃料に変えた場合は、しばらくの間エンジンが不安定になる場合があります。このエンジンに限ったことではなく、一般の全てのグローエンジンに言えることで、エンジンが新しい燃料になじみ、安定してまわるまで数分フライト、ブレークインの要領で運転してください。

- ⚠ 燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。
- ⚠ 燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。

## 始動

1. 実際に使用される燃料を使用します。必ずマフラープレッシャーを使用してください。（マフラーから出ているニップルと燃料タンクとを燃料チューブでつなぐことで完成します。）こうすることによって排圧を利用してエンジンに安定して燃料を送ることができます。
2. フライト前に機体各部のねじのゆるみを必ず確認してください。ヘリコプターは、構造上ねじがゆるんでいきますとノイズが発生しやすく、ノイズは大きなトラブルに直結します。十分注意してください。次にプロポのスイッチを入れます。必ず送信機-受信機の順に入れてください。切る時は逆の順序で切ります。バッテリーの残量をチェックしてください。確実に充電されていないバッテリーでのフライトはやめてください。  
エンジン始動の前に機体の動作確認を行います。プロポのアンテナを最も短く離れた所から操作通りに動いているか確認してください。
3. ニードルバルブは一度全開にしてから約1/2回転開いてください。プラグヒートは行わずにスロットルバルブを全開にします。燃料がキャブレターのインレットに吸い込まれるまでスターターでエンジンを回転させます。
4. エンジンコントロールスティックを最低速、エンジンリムが適正位置にあることを確認後、送信機側のアイドルアップスイッチがOFFになっていることを確認します。  
エンジンが始動してもローターが回転しないように、ローターヘッドを手で押さえてください。
5. プラグヒートを行いスターターでエンジンを始動します。

（注意）エンジンが始動直後、混合気が濃すぎでスロットルレスポンスが悪い場合や、すぐにエンジンがストップする場合は、燃料パイプをエンジンの回転が上がり安定するまで指でつまんでください。（1~2秒間）

- ⚠ 回転しているローターには絶対に触れないでください。ケガをする恐れがあります。

## ブレークイン（ならし運転）

このエンジンは、高品質の材料で、高精度に加工された部品で組み立てられていますから、テストベンチに取り付けてのブレークインは必要ありません。しかしながらエンジンの性能を十分に発揮させ、その性能を長く維持させていくためには、ある程度のブレークインは必要です。実際に使用するヘリコプターにエンジンを搭載し、ヘリコプターを飛行させながらブレークインを行ってください。

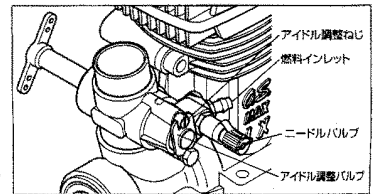
- 実際に使用される燃料で、最初数回の飛行を濃い目の混合気で運転してください。
- ヘリコプターは、固定翼機（普通の飛行機）と違って、スロットルが正味機体の上昇、下降を受け持っています。あまり濃い目の混合気（ニードルバルブを開きすぎ）にセットすると、エンジンのスロットルレスポンス（反応）が悪く飛ばしにくくなったり、最悪の場合はエンジンストップを起こすことさえあります。
- 従って濃い目といっても、通常飛行させるニードルバルブ開度より約1/4回転（全開から1/2回転）開き、最良のニードル位置より少し濃い目になるようにしてください。
- もちろん最初からニードルバルブを絞らず、薄目の混合気で運転することはオーバーヒートの原因になり、エンジンの寿命を短くします。常に少し濃い目の混合気で運転するように心がけてください。

## キャブレタースロットル（60G）

ヘリコプターは、エンジンのスロットル操作が機体の昇降を受け持っていますので、その調整は飛行性能を大きく左右します。ブレークインが完全に終わってからキャブレタースロットルの最終調整を行ってください。

このキャブレターには、次の2つの調整部分があります。

- ① ニードルバルブ  
全回転域、主に高速回転における混合気を調整します。  
ニードルバルブを調整すると、ホバリングの回転域にも大きく影響します。
- ② アイドル調整/バルブ（アイドル調整ねじ）  
安定したアイドリングと、スムーズな中速への加速が得られるようアイドリング時の混合気を調整します。  
（工場出荷時に調整してありますので、運転してみて再調整が必要な場合のみ調整してください。）  
アイドル調整バルブを調整すると中速付近にも影響します。



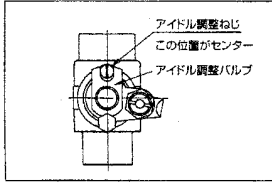
Ⓐ エンジンを始動する前に、次のことを確認してください。

- ニードルバルブは全開から1/2回転開きます。
- 必ずマフラープレッシャーを使用してください。
- エンジンコントロールスティックを最高速の位置にした時、キャブレターローターが全開になり、エンジンコントロールスティック及びエンジンリムを最低速の位置にした時、キャブレターローターが全開になるかを調整確認してください。

（注意）このキャブレターは、アイドリング付近のローター開度を調整するローターストップ調整ねじは付いていません。アイドリング付近のキャブレターローター開度は、送信機のトリムレバーで調整できるようにリネージュしてください。

## アイドル調整バルブ (アイドル調整ねじ) の基準調整

アイドル調整ねじは安定したアイドルリングと、スムーズな離陸 (立ち上がり) を行うために燃料の供給量を調整するものです。  
工場から出荷する時は、この調整ねじはセンターを向いています。この位置が基準位置となるので、初めての始動の時はこの位置に設定されているか確認してください。  
このキャブレターは構造上アイドル調整ねじを右に傾けると薄く、左に傾けると濃くなると思ってください。



## 調整

以下は、ニトロメタン5〜30%、合成潤滑油25%の燃料を使用した標準的な調整方法です。

一般にニトロメタンの割合が多くなるとニードルを開く (濃くする) 方向に調整する必要があり、ニトロメタンの割合が少なくなると、ニードルを絞る (薄くする) 方向に調整する必要がありますが、潤滑油の種類 (性質、粘度など) や、割合にも大きく影響されます。

- ⑤ ニードルバルブ位置及び送信機の各スイッチ、スティック位置を確認してからエンジンを始動します。また、不用意にヘリコプターのメインローターが回転すると危険ですから、ヘリコプターのメインローターヘッドはしっかり押さえておいてください。
- ⑥ エンジンが始動したら30秒程度暖気運転を行います。この時エンジンが止まるようであれば、スロットルをエンジンリムで少し開いてアイドルリングを上げてください。エンジンが暖まりましたらヘリコプターを離陸させます。
- ⑦ この時、排気口から白煙を多量に出し、もたつきながら回転が上昇するようでしたら、アイドルリング時の混合気が濃すぎるしです。このような場合は、アイドル調整ねじを右へ少し傾けてください。混合気が極端に濃い場合は、スロットルを開くと多量の白煙を出し回転が上がりかけた時、エンジンの回転がばらついて不安定になり、急に回転が下がったり、アイドルリングの時間を長くすれば回転が徐々に低下しやがて止まってしまいます。

(注意) 長い暖気運転の間に混合気が濃い状態になっている場合が多いので、一度ホバリングさせ着陸させた後、アイドルリング時の混合気の状態を判断してください。

- ⑧ 逆に排気口からほとんど白煙が出ないまじりの爆発音を出し、回転の上昇をほとんど見ないままか、いったん回転が上がりかけてすぐに低下してエンジンが止まるような場合は、アイドルリング時の混合気が薄すぎるしです。このような場合は、アイドル調整ねじを左に少し傾けてください。
- ⑨ いずれの場合も一回の調整は、調整ねじの回転角で約2°〜3°ずつ行ってください。
- ⑩ ほぼアイドルリングの調整ができれば、次にホバリングの調整を行います。
- ⑪ ホバリングでスロットルを操作して中速 (ホバリング付近) の混合気の濃さを見てください。白煙を多量に出してスロットルレスポンスが悪い場合は混合気が濃すぎです。このような場合は、ニードルバルブを絞って (右へまわす) ください。ただし、この時点での調整は上空飛行に移るためのものですから、少し濃い目にとどめ絞すぎないように十分注意してください。
- ⑫ 排気煙が薄く、スロットルレスポンスが良すぎてホバリングが安定せず、焼け気味 (回転が上がってくる) になる場合は混合気が薄すぎですから、このような場合は、ニードルバルブを開けて (左へまわす) ください。

- ⑬ ここまでの調整が終わりましたらヘリコプターを着陸させて、もう一度アイドルリングの調子をみます。
- ⑭ 着陸してエンジンがアイドルリングになってから約10秒してからスロットルを開けてみます。(離陸させる) スムーズに立ち上がればOKです。混合気が濃いか薄いかの症状が出た場合は、再度アイドル調整バルブでアイドルリングの調整をしてください。

- ⑮ 次に上空飛行をしてニードルバルブで高速回転の調整をします。
  - 強い風直線飛行をさせ、伸びのある加速が得られ、引き起こした時に回転が落ちないところを見つけます。
  - 加速が悪く、白煙を多量に出しながら回転に伸びのない時は、混合気が濃いのでニードルバルブを絞ります。
  - 逆に加速は良いが、高速飛行後引き起こした時に、回転が下がったり、高速直線飛行中急に回転が低下したりする時は、混合気が薄くなっておりニードルバルブを絞すぎですから、直ちに着陸させてニードルバルブを開きます。

- ⑯ ニードルバルブが調整できたら、ホバリングの最終的な微調整を行います。
- ⑰ ヘリコプターで一番スロットルレスポンスが重要なのは、最も多用されるホバリング前後の回転です。このキャブレターは、アイドル調整バルブ、ニードルバルブの調整が出来れば、ホバリングでのスロットルレスポンス (混合気) も満足な結果が得られるはずですが、このキャブレターは、中速だけを単独に調整する装置はありません。したがって中速域の混合気の調整は、ニードルバルブとアイドル調整バルブの両方を動かして調整することになります。しかしニードルバルブは高速 (フルスロットル) で、アイドル調整バルブはアイドルリングで、最良の状態が得られるように先に調整していますから、中速の調整のためにこれらの調整を変えることは、高速及びアイドルの特性を変えることとなります。したがって高速及びアイドルリングの特性に大きく影響を与えない範囲で、中速の調整を次の要領で行ってください。

- ⑱ スロットルレスポンスが鈍感な場合 (混合気が濃い) ニードルバルブを2〜3コマ絞るかアイドル調整ねじを右に2〜3°まわす。
- ⑲ スロットルレスポンスが敏感な場合 (混合気が薄い) ニードルバルブを2〜3コマ開くかアイドル調整ねじを左に2〜3°まわす。

- ⑳ (注意) 中速の特性は、ヘリコプターの場合スロットル開度に対するメインローターのピッチ (スロットルカーブ、ピッチカーブ等) と深い関係があります。キャブレターの調整だけで希望の中速運転が出来ない場合は、それらの調整もご検討ください。

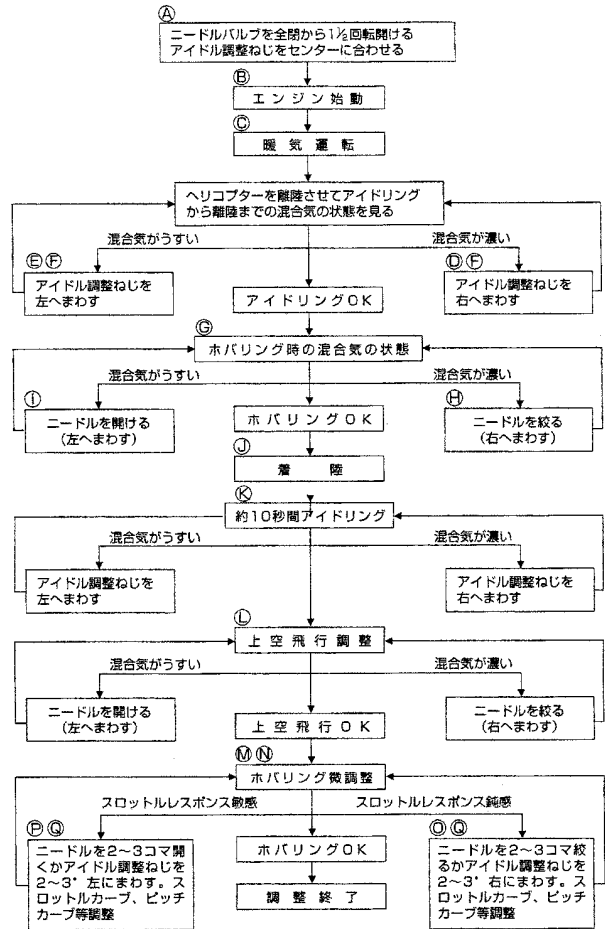
(注意) 燃料やサイレンサーを変える場合は、次のことに注意してください。

- 燃料を他のメーカーに変えた場合や、同じメーカーでも他の銘柄に変えて、ニトロメタンの割合や潤滑油の種類が変わった場合は、混合気の濃さに変化が生じることがあります。またサイレンサーの違いによりプレッシャー圧が変わると、ニードル開度も変化します。燃料やサイレンサーを変えた時、初めは安全のため濃い目になるように、ニードルバルブを今までの位置より約1/2回転多く開けて様子を見ます。
- エンジンが新しい燃料になじむまでしばらく時間を要しますので、変えてから数十分運転終了まではニードルバルブ、アイドル調整バルブ共に、絞り過ぎないように慎重に調整してください。
- プラグ、ヘリコプターのメインローター、メインローターのピッチを変えた場合にも、注意深く混合気の状態やレスポンスを確認し、必要に応じて再調整を行ってください。また、気温や湿度の変化によっても、再調整が必要になる場合があります。

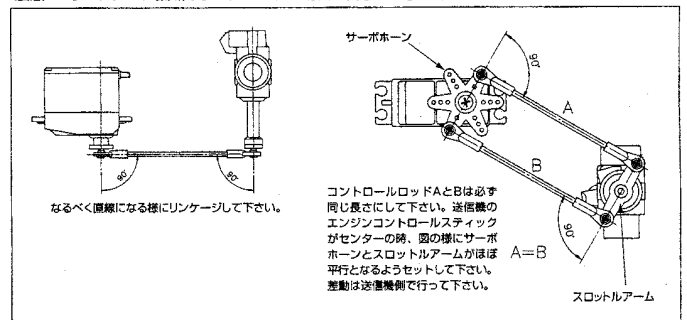
## ● 取扱上の注意と掃除

使用される燃料中にごみなどが含まれていると、キャブレタートラブルの原因になります。燃料缶と燃料タンクの間に性能の高いフィルターを使用し、燃料タンクにごみが入らないようにしてください。弊社ではダブルのフィルター機構を持った燃料缶用高性能フィルター "スーパーフィルター" (コード No.72403050) を別売で用意しておりますのでご利用ください。また定期的に燃料フィルター及びキャブレターの掃除をしてください。

## キャブレター調整の手順



注意: ヘリコプターに搭載しリンケージする場合、下記の注意を守って行って下さい。



## 使用後の手入れ

- 一日の飛行が終わったら、燃料タンクに残った燃料は必ず抜き取ってください。
- その後もう一度エンジンを始動し、キャブレターや燃料パイプの中に残っている燃料がなくなるまで、アイドルリングで運転してください。エンジンが止まったらエンジンが暖かい内にスターターで4〜5秒回し、エンジンやサイレンサー内部に溜まった炭油を排出してください。
- さらにキャブレターの吸入口から防錆油をエンジン内部に少量注油し、エンジン内部にゆきわたるようスターターで4〜5秒回してください。

(注意) 防錆油はキャブレター内の "O" リングを傷める場合がありますので、キャブレターの一ニードルバルブやアイドル調整ねじまわりには防錆油を注油しないでください。

- これによりかなりの防錆効果が得られ、また余分なオイルが残らず、次回のエンジン始動がしやすくなります。

## アフターサービス

### ◆エンジンの修理について

- よく洗浄してエンジン本体のみを弊社「OSエンジンサービス係」までお送りください。(エンジン以外のものが付いていたり汚れがひどいと分解や洗浄に時間がかかり、修理代が高くなります)この時、故障時の状態及び修理希望事項を必ずお書き添えください。
- 原則として弊社到着後10日以内で修理完了致します。なお修理品は修理の内容及び注意事項を書いた修理カードを添えてご返送いたします。
- 修理品のお支払いについては、コレクトサービス(代金着払いシステム)により発送させていただきますので、お届けした際に修理代金及び送料をお支払いください。

### ◆交換部品について

- この製品を購入された販売店でお買い求めください。もし販売店にストックがなく部品が入りできない場合は、弊社から直接購入することができます。この場合、品名コード、品名、数量を明記の上、部品代金(消費税分を加算して)+送料(但し自動車便の場合は部品代金と送料の合計金額に対する消費税を加算してください)を現金書留か、普通郵便で「OSエンジンサービス係」へお送りください。
- 送料は部品の大きさ、重さ、個数により変わります。下記の表をひとつの目安にして、多少加算した額を送料として同封してください。商品発送時に精算して、差額はお返しします。

(封筒や梱包材料などの重さも加わりますのでご注意ください。)

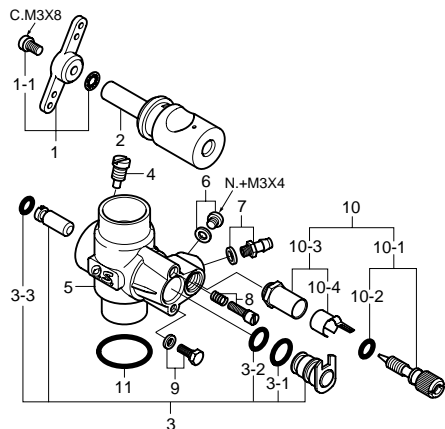
重量	50gまで	75gまで	100gまで	150gまで	200gまで	250gまで	500gまで	750gまで	1kgまで	2kgまで
料金	120円	140円	160円	200円	240円	270円	390円	580円	700円	950円

送料は平成10年12月現在で法規改正などにより変更になる場合があります。

- 現金書留および普通郵便以外でのお申込みは、コレクトサービス(代金着払いシステム)とさせていただきます。
- エンジンを分解したり、組み立てたりすることに、あまり経験のない方には部品の交換はおすすりできません。この製品を購入された販売店にご相談ください。

「OSエンジンサービス係」

電話(06) 6702-0230(代) FAX(06) 6704-2722

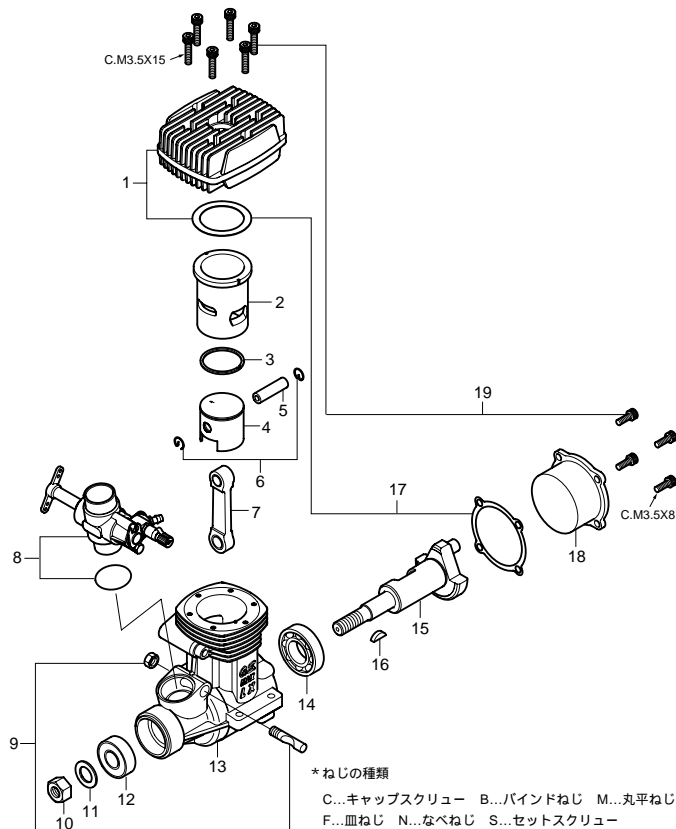
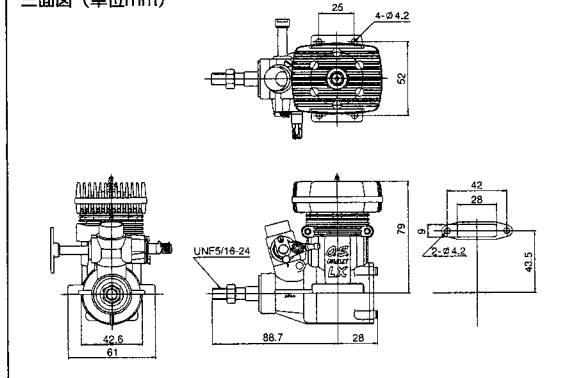


No.	品名コード	品名	価格(円)
1	27381410	スロットルアーム 一式	200
1-1	22826131	スロットルアーム取付ねじ(2本)	100
2	27982200	キャブレターローター	1,300
3	27982300	アイドル調整バルブ 一式	1,000
3-1	27881810	"O"リング(大)(2個)	140
3-2	27881800	"O"リング(小)(2個)	140
3-3	27881820	"O"リング(大)(2個)	140
4	27181601	ローターストッパー	220
5	27982100	キャブレター本体	2,000
6	27881120	プラグスクリュー	100
7	22681953	燃料インレット	110
8	27881330	アイドル調整ねじ	170
9	27681340	アイドルバルブストッパー	100
10	27981900	ニードルバルブ 一式	950
10-1	27981910	ニードル	550
10-2	24981837	"O"リング(2個)	220
10-3	27381940	ニードルバルブホルダー 一式	400
10-4	26711305	ラチェットスプリング	100
11	29015019	キャブレターガスケット	100

### O.S. 純正パーツ&アクセサリ

品名コード	品名	価格(円)
72403050	スーパーフィルター(L)	500
55500003	ノルトロックワッシャM4(10組入)	450
71530300	クランクシャフトクランプ3261	1,000
79871060	キャップスクリューセット(M3.5x8)(10本入)	300
79871090	キャップスクリューセット(M3.5x15)(10本入)	300
71521000	ロングブラグレンチ	550

三面図(単位mm)



No.	品名コード	品名	価格(円)
1	27904200	ヒートシンクヘッド	3,200
2	27963100	シリンダーライナー	5,500
3	26703404	ピストンリング	1,200
4	27903200	ピストン	2,800
5	26606008	ピストンピン	300
6	27917000	ピストンピンリテーナー(2個)	180
7	27965000	コンロッド	1,200
8	27982000	キャブレタースロットル 60G	5,100
9	29081719	キャブレターリテーナー	360
10	45010002	プロペラナット	100
11	46120000	スラストワッシャ	110
12	26731002	クランクシャフトベアリング(前)	750
13	27961000	クランクケース	6,300
14	27930000	クランクシャフトベアリング(後)	1,200
15	27962000	クランクシャフト	3,300
16	29008219	ウッドラフキー	180
17	27914000	ガスケットセット	200
18	27907000	カバープレート	650
19	27913000	スクリューセット	500
	71608001	グローブプラグNo.8	480

\*表示価格には消費税は含まれておりません。製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

## 小川精機株式会社

〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号

電話 (06) 6702-0225番(代)

FAX (06) 6704-2722番

URL: <http://www.os-engines.co.jp>